

下鴨神社だより

行事日程

- 4月29日 市民植樹祭 (午前9時～)
- 5月3日 流鏝馬神事 (午後1時～)
- 5月12日 御蔭祭 (午前9時～)
- 5月15日 賀茂祭／葵祭 (午前11時40分～)



- 6月11日 螢火の茶会 (午後5時～)
- 7月23日～31日 みたらし祭 (午前5時半～)



- 8月6日 矢取り神事 (午後6時半～)
- 9月15日 名月管絃祭 (午後6時半～)

事務局だより

会議報告

平成27年9月28日より平成28年3月31日まで

◆関東本部役員会

月日：平成27年9月28日(月)
場所：帝国ホテル(東京)会議室
出席：関東本部役員

報告事項…

- ①糺の森環境整備・景観保全と文化財修理事業に係る関東募金進捗の件
- ②糺の森環境整備・景観保全と文化財修理事業に係る各地区募金進捗の件
- ③今後の関東本部活動内容について

◆第13回理事会

月日：平成28年3月2日
場所：主たる事務所
出席：理事・監事

決議事項…

- ①平成27年度追加助成事業並びに助成金額変更の件
 - ②自平成27年4月1日至平成28年3月31日事業年度に係る補正予算書類の件
 - ③自平成28年4月1日至平成29年3月31日事業年度に係る事業計画及び収支予算書の件
 - ④資金調達及び設備投資の見込みの件
 - ⑤臨時評議員会開催の件
 - ⑥顧問就任の件
- 報告事項…
- ①役員退任の報告
 - ②監事選任の報告

- ③自平成27年6月10日至平成28年3月1日の理事長および専務理事の職務執行の報告
- ④会員数の報告

会員数報告 (平成28年2月21日現在)

賛助会員	66件
団体・法人会員	46件
個人会員	1,204名
合計	1,316件

新役員紹介

- ・新任理事 加藤好文氏
(京阪電気鉄道株式会社代表取締役社長)
- ・新任監事 吉川哲朗氏
(京都みらい法律事務所所長)

平成28年度会員証および特典パンフレット

平成28年度の会員証は6月下旬にお届けいたします。平成27年度会員証は6月30日まで有効です。ご利用いただけます。

新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産糺の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしく願いたします。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

ご寄付のお願い

平成28年度も多くのご寄付をいただき、糺の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成28年度も引き続きましてご協力をよろしく願いたします。同封の振込用紙をご利用ください。

糺の森



糺の森ぐらりぐらり 第12回
「糺の森に眠る遺跡」

糺の森NEWS／催事案内

表紙写真／井上隆雄

Vol. 13

糺の森財団会報

平成28年3月31日発行
通号61号

編集・発行

公益財団法人

世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.tadasunomori.or.jp

糺の森



題字

賀茂御祖神社

新木直人宮司

糺の森財団

評議員 布垣 豊

(京都中央信用金庫 会長)



日頃より糺の森財団の活動にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。
普段の生活の中で、私たちが無意識になりがちな、先人から受け継いできた
伝統や、太古の自然を再認識させてくれる場所が、現代の京都市、洛北の下鴨
神社「糺の森」に残されています。この森で育まれた伝統祭事や文化財、そし
て小川や樹木といった自然は、世代を超えた数多くの人々によって守り伝え
られてきました。

時代背景や社会情勢が異なるなか、先人達がそれぞれに柔軟な発想と創造
力を持ち、連綿と次世代にバトンタッチしてきたことを考えますと、その一
助になれることに喜びを感じるとともに、私たちに課された重責に身の引き
締まる思いがします。

私たちは日々、小さきまざまな目標を立てて行動しています。例えば、勉強
や仕事などにおいては、明確な結果を定め、その達成に向けて邁進すること
でしょう。しかし、決められた結果を求める行動・プロセスが全てに当てはまる
とは限りません。

現在、糺の森財団が行っている保全事業に最終目標は定められていません。
ただ悠久の時を超えて現代まで継承された文化財や伝統、糺の森を次世代そ
して未来永劫に伝える責務を負っています。それを達成するには、円滑な人間
関係を基にして、時勢にあった活動を地道に取り組まなければなりません。当
財団の会員をはじめ、関係各位の皆様には、この貴重な文化遺産糺の森保存の
ため、更なるご理解とご尽力を切にお願い申し上げます。

糺の森に眠る遺跡

(公財)京都市埋蔵文化財研究所
調査課長

吉崎 伸

京都市内には平安京跡をはじめと
して約八〇〇箇所の遺跡がある。私
の所属する(公財)京都市埋蔵文化
財研究所はこうした遺跡の発掘調査
に携わっている。平安京跡では京都
に都が置かれてから一二〇〇年以
上にわたって営まれた人々の生活の痕
跡が、時代ごとに積み重なって発見
される。ところが賀茂御祖神社(下
鴨神社)、糺の森の発掘調査では平
安京を通じて培われた調査の常識は
通用しなかった。

二〇〇四～六年に奈良の小川の南
側で実施した調査では、地面を掘り
込んでこぶし大の礫を敷きつめて基





屋根が葺き替えられた供御所

平成27年度の一カ年事業として修理を行っている重要文化財供御所は、予定通り年内に檜皮屋根の葺き替えを終え、ま

重要文化財 供御所
保存修理工事

助成対象事業
 糺の森財団は平成27年度実施の文化財や糺の森保全事業への助成内容を決定しました。平成27年度は総額164,500,000円を助成。

助成対象事業

糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
 世界遺産賀茂御祖神社境内
 糺の森保存会事務局
 www.tadasunonori.or.jp

河合神社東西渡廊
 保存修理工事
 糺の森の南にお祀りされている河合神社。その本殿のすぐ手前にある幣殿の東西に建つ渡廊は、江戸中期頃の建築様式を伝える、桁行十間（東西五間ずつ）、梁間一間の切り妻造り檜皮葺きの木造建造物です。前回の屋根葺き替えから40年以上を経過して、檜皮や木部の腐朽が著しい



木部まで水が廻り腐食が進行した西渡廊檜皮屋根

た経年により傷みの進んだ室内の畳54畳も新調し、敷き直されました。年明け以降は周囲の腐食木部の補修や板戸の修理等が行われ、3月に全ての工事が完了いたしました。



新調された畳

糺の森財団助成金額
38,000,000円

●第2期糺の森整備工事(神宮寺跡整備事業) 明治の廃仏毀釈まで糺の森に存在した神宮寺と糺池の遺構確認と保存整備の為に発掘調査を実施
 糺の森財団助成金額
6,700,000円

●境内環境保全事業
 枯木等危険木の伐採や参道の補修工事等
 糺の森財団助成金額
4,000,000円

●河合神社周辺整備工事
 境内及び社殿の防犯防災設備工事等



河合神社幣殿および東西渡廊

●世界遺産糺の森伝承祭保存事業
 御手洗池北庭の神門復旧工事
 糺の森財団助成金額
9,900,000円

●流鏝馬神事の保存と騎射育成事業
 毎年5月3日に行われる、流鏝馬神事の実施と後継者育成事業
 糺の森財団助成金額
500,000円

●葵の庭整備工事
 大炊殿葵の庭の剪定整備工事
 糺の森財団助成金額
250,000円

●旧鴨社公文所絵所預「浅田家」保存整備工事
 現存する下鴨の社家屋敷「浅田家」の保存を目的とした修理工事
 糺の森財団助成金額
39,000,000円

●境内北側史跡境界に建つ塀の補修工事等
 糺の森財団助成金額
2,700,000円

●御蔭神社境内保存整備事業
 昨年10月に国指定史跡に追加指定された、下鴨神社境外痕社「御蔭神社」の国庫補助対象となる初年度整備事業
 糺の森財団助成金額
10,000,000円

糺の森財団助成金額
2,050,000円

[1] 祭壇遺構：こぶし大の礫を敷きつめた上に土をかぶせて形成されている。



[3] 土師器埋納遺構：祭壇上を浅く掘窪め、土師器や小石を納めている。
 [2] 集石遺構：祭壇上を浅く掘窪め、石を円形に並べている。

礎とし、上面を土砂で固めた平安時代の土壇が見つかった〔写真1〕。その上面や周辺には、小石を集めた遺構〔写真2〕や土器を埋納した遺構〔写真3〕が随所に見つかった。しかも、それらは平安時代のものから近世のものまでが混在していた。当初、これらの遺構がどのような性格であるのか全くわからなかった。その後、ほかの神社の調査例や新木宮司の助言から、祭祀にかかわる遺構であるらしいことが分かってきた。現在、発見した土壇は奈良の小川や泉川に面した祀壇であり、集石遺構や土師器埋納遺構は平安時代から近世まで行われた祭祀の跡と

理解している。発掘調査で行われる考古学的手法は、地面に刻まれた人の痕跡(遺構)と残された器物(遺物)から人の営みを探ることを目的としている。ここでは建物や井戸など生活に密着した遺構は理解しやすい。ところが糺の森の調査のように精神活動に基づいた遺構や遺物を理解するのは難しい。とくに神社で行われる祭祀は口伝であることが多いため、文書のような記録類が少ないこともそれに拍車をかけている。ともあれ何とか性格を明らかにすることができたこの遺跡は現在復元整備され、自由に見学することができる。

一方、糺の森の南部、河合神社の北側には神宮寺の池と伝わる窪みがある。近年その周辺を発掘調査している。二〇一五年の調査では地表下わずか10cmほどの深さで、江戸時代の神宮寺(神社に付属するお寺)に伴う建物や井戸〔写真4・5〕などが見つかった。幸いにもこちらは江戸時代の絵図面が残されていたため、遺構の復元は比較的容易に行えた。ところが調査の過程で新たな事実が判明した。江戸時代の建物の基盤となっている層に平安時代後期の土器が大量に混じっていることが確認され、さらにその周辺では平安時代後期の瓦も大量に出土することもわかった〔写真6〕。つまり、江戸時代の神宮寺の基盤は平安時代から受け継がれたものだったのである。非日常的空間である糺の森には、それにふさわしい遺跡が眠っている。「祈りの遺跡」とでも言えようか。そこには古代から近代あるいは現代まで脈々と受け継がれた祭祀の姿が残されている。



[5] 神宮寺の井戸跡：井戸の下部は鎌倉時代までさかのぼる



[6] 神宮寺跡：神宮寺南西部で見つかった建物跡。周辺の瓦は平安時代のもの。



[4] 神宮寺跡：観音堂と推測される建物跡

「世界遺産 下鴨神社 式年遷宮展」開催

東京会場／東京交通会館12階カトレアサロン 平成27年9月29日～10月3日
名古屋会場／名鉄百貨店本店10階クローバーサロン 平成27年11月4日～10日

昨年4月に終了した第34回式年遷宮を記念して、9月に東京で初めての開催、そして11月に名古屋で第7回目の開催をいたしました。今回は御神宝・調度品に加え、式年遷宮に関する資料や写真パネルを展示。式年遷宮と伝統文化の保存継承の関係を紹介し、文化財保護・環境保全への理解を深めていただくことができます。



世界遺産糺の森文化講演会 開催

平成27年秋講座
「落語の魅力聞き、落語を楽しむ」

平成27年12月6日に下鴨神社の参集殿において、落語家の桂福丸氏を講師にお迎えして開催いたしました。第1部は落語の文化・楽しみ方を楽しく講演、第2部は高座に上がって、落語を一席ご披露いただきました。笑いの絶えない和やかな講演会となりました。

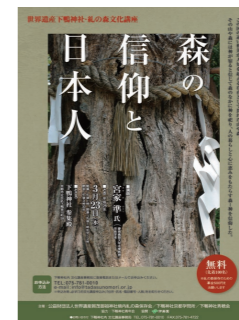
平成28年春講座「森の信仰と日本人」

平成28年3月23日に下鴨神社の参集殿において、慶應義塾大学名誉教授で宗教学者の宮家準氏を講師にお迎えして開催いたしました。宗教学の権威であり、修験道研究の大家である講師に、民間信仰の森の信仰や神社神道の原点をなす鎮守の森について語っていただきました。

秋の糺の森コンサート「音の森」開催

森の中で音楽を聴こう

6月14日「Brass Quintet TONARINO」by J&K「Aja'sのトコロ」などなじみの深い曲を金管五重奏で楽しむコンサート。10月は映画音楽やクラシックを弦楽四重奏で聴くコンサート。両月とも京都市立芸術大学学生による演奏。11月は秋のスペシャルとして、「秋の歌と弦楽コンサート」を予定していましたが、雨天のため中止となりました。41回目を迎える4月から、ますます充実していきたいと考えています。ご期待ください。



下鴨神社

京都学問所だより

今号より、紙面の一角をお借りしまして、下鴨神社京都学問所の活動報告やお知らせなどをさせていただきますこととなりました。宜しくお願いいたします。

下鴨神社京都学問所は、明治初年の神社制度の改正に伴い廃止された「鴨社学問所」を、平成二十三年（二〇一）に「日本の伝統文化の保全と育成」に貢献することを目的に再興された教育・研究機関です。

今までの主な活動としては、平成二十四年（二〇一）に行われました「鴨長明『方丈記』完成八〇〇年記念事業」を皮切りに、平成二十七年（二〇一五）の「第三十四回式年遷宮事業」に関する特別企画展や糺の森財団と共催で文化講座を開催しました。

また、「方丈記」八〇〇年記念「写真作品」・「歌とエッセイ」コンテストの受賞作品や各専門分野の先生方による「鴨長明『方丈記』八〇〇年記念連続文化講座」の講演録をまとめました「京都学問所紀要」創刊号を刊行しております。

現在は、四月開館予定の「鴨社資料館秀穂舎塾」の開館準備中です。四月二十七日は、式年遷宮より一年ということ「後一年大祭」が斎行されます。これに合わせて、式年遷宮奉祝記念としてご奉納いただきました名品の数々を展示させていただきます。ご予定をしております。

催事案内

遊び、学ぶ、糺の森のつどいあれこれ

第26回 糺の森市民植樹祭

日時：4月29日(金・祝) 午前10時～12時

場所：糺の森馬場特設会場

※学術的、文化的に貴重な自然林・世界遺産の「糺の森」を守るため、毎年実施しています。



苗木植樹 ムク・エノキ・カツラなどの苗木を植樹していただきます。子どもも大人もどなたでも参加OK。お気軽にご参加ください。参加費：1,000円(1名) ※スコップ・花鉢を進展申込：当日9時から会場受付にて

成木献木 子どもや孫の誕生、結婚周年など記念に成木を植樹して、森に思い出を残してください。お問合わせ、お申込みは事務局まで。献木代：150,000円(1本) 事務局：下鴨神社内 ☎075-781-0010 申込：4月10日までにお願いします

“春の”糺の森コンサート「音の森」

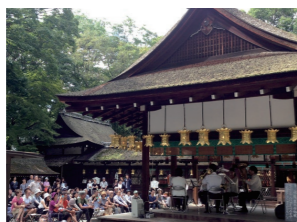
月日：4月29日(金・祝)、5月21日(土)、6月18日(土)

時間：午後2時～3時(予定)

場所：河合神社(糺の森南側)

参加：無料(自由)

※自然の中で楽しめるコンサートです。春の一日、気持ちのよい森の中でお楽しみください。4月29日はサクソカルテットの演奏です。



第26回 螢火の茶会

日時：6月11日(土) 午後5時～9時

場所：下鴨神社楼門内

※明治の納涼茶席を再開した「螢火の茶会」。裏千家によるお茶席と境内に舞う螢をお楽しみください。



参加方法 ■お茶席 財団会員および招待者のみ参加。会員の方には5月中旬に案内をし、申込みを受け付けます。当日財団法人会者も参加可(数に限りあり)。

■螢鑑賞(境内および森) 自由に鑑賞できます。7時頃に森散策路に放流。



「糺の森納涼市」

時間：午後1時～9時

場所：楼門前

※京菓子・京漬物・お酒など有名老舗約20店が出店します。お買物をお楽しみください。

世界遺産糺の森文化講演会 平成28年夏講座

月日：8月中旬 場所：下鴨神社 参加：無料

※現在内容については検討中です。決定次第、ホームページやチラシなどでご案内いたします。もう少しお待ちください。

詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 www.tadasunomori.or.jp 下鴨神社 www.shimogamo-jinja.or.jp
お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010